

日本皮膚科学会 第142回山陰地方会 プログラム

日時：令和6年9月1日（日）

会場：鳥取大学医学部附属病院 ゲストハウス棟 2階多目的ホール

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1

会場案内図

車でお越しの先生方は**第1～3駐車場**をご利用ください。

第1,2駐車場は受付で駐車券の無料処理をします

第3駐車場は受付でサービス券をお渡しします



お知らせ

- ◇ 学会当日、参加費 1,000 円（現金のみ対応）を徴収いたします。
- ◇ 一般演題の発表はすべて PC プレゼンテーションです。
- ◇ 1 演題は口演 7 分、質疑応答 2 分です。
- ◇ 学会終了後 1 週間以内に、400 字以内の西日本皮膚科掲載用の抄録をご提出下さい。提出がない場合、プログラム掲載の抄録を使わせていただきます。

提出先：

〒683-8504 米子市西町 36-1 鳥取大学医学部皮膚科学分野内

日本皮膚科学会第 142 回山陰地方会

事務局 担当：足立 孝司

電話 0859-38-6597 FAX 0859-38-6599

E-mail : hifujimu@ml.med.tottori-u.ac.jp

◇ 単位について

機構認定専門医制度による単位認定（新制度）

下記の項目で聴講単位が認められています。

9 月 1 日（日）講演時間 9:30-11:30 一般演題（認定単位数 1 単位）

開始後 15 分を過ぎた場合、聴講単位が認められません。

日本皮膚科学会発行の会員証の提示が必要です

一般演題 9:30～11:30

座長：足立孝司、谷 直実

1. 抗デスモグレイン 1 抗体と抗 BP180 抗体に陽性を示した水疱症の 1 例

○宮本達志、岡田 優、藤井楓子、江原由布子、山田七子、吉田雄一（鳥取大）、桑本聡史（同病理診断科・病理部）

58 歳女性。全身に紅斑、水疱を生じ、皮膚生検および血清学的検査で天疱瘡と類天疱瘡の合併と診断した。

2. アベルマブ投与が有効であった Merkel 細胞癌の 1 例

○ 石原啓太郎（鳥取県立中央病院）、後藤寛之（大阪公立大）

80 代女性。左こめかみ部に 2×3cm 大の表面やや潮紅した腫瘤を認め、皮膚生検を行った。

3. 右下腹部に生じた pigmented keratin granuloma の 1 例

○ 國岡順子、森 裕美、足立孝司、吉田雄一（鳥取大）、大森健人、牧島かれん、尾崎加苗（同病理診断科・病理部）

72 歳男性。1 年前より生じた 40mm 大の下腹部の皮下腫瘤を摘出したところ、pigmented keratin granuloma と診断された 1 例について報告する。

4. 頭部に痒疹結節が多発した trigeminal trophic syndrome の 1 例

○ 左田野幹生、山崎修（島根大）、太田征孝（おおた皮膚科クリニック）

64 歳男性。7 年前に左三叉神経第 1 枝領域の帯状疱疹罹患後、頭部に疼痛と瘙癢が持続し、痒疹結節が多発した。

5. リツキシマブが奏功した尋常性天疱瘡

- 竹内杏奈、谷 直実、山田七子、吉田雄一（鳥取大）

42 歳男性。重症の尋常性天疱瘡に対してリツキシマブを導入し、著効したため、若干の文献的考察を含めて報告する。

6. スペソリマブを使用した膿疱性乾癬の 1 例

- 三原祐子、石飛朋子、辻野佳雄（島根県立中央病院）

尋常性乾癬の既往歴がある膿疱性乾癬の 90 歳代男性。3 回目の急性増悪に対しスペソリマブが有効であった。

7. Shark island pedicle flap で再建した鼻翼基底細胞癌の 2 例

- 湯原瑞希、吉田貴弘、小池貴之、松本香奈枝（島根大）、三原昌子（みはら眼科皮膚科）、松木真吾（太田市立病院）、山崎 修（島根大）

Shark island pedicle flap は回転皮弁と前進皮弁を組み合わせた鼻翼周囲の欠損部の再建法である。2 症例を供覧する。

8. 結節性紅斑との鑑別を要した腓性脂肪織炎の 1 例

- 藤井楓子、木村良子、江原由布子、吉田雄一（鳥取大）

52 歳男性。両下腿に浸潤を伴う紅斑が多発し、病理組織学的所見と腓酵素上昇より腓性脂肪織炎と診断した。

9. 免疫グロブリン製剤大量静注療法 (IVIG) が奏効した中毒性表皮壊死症 (TEN) の 1 例

- 上野彩夏、金子 栄 (益田赤十字病院)

65 歳女性。ST 合剤とランソプラゾール内服後に全身に紅斑びらんを認め TEN と診断。CMV 再活性化もあり IVIG、抗ウイルス薬で加療した。

10. 症例供覧

- 井上忠典 (井上皮膚科医院)、栗谷太郎 (旧 NTT 西日本大阪病院リュウマチ内科)、岡本静子 (そよかぜ診療所)、岩脇卓司 (いわわき眼科クリニック)、椋島健治 (京都大)

1.モルフェア様皮疹を伴った全身性強皮症の 1 例
第 133 回山陰地方会で発表した症例のその後を報告する。

2.イチゴによると考えられた食物アレルギーの 1 例
75 歳女性。両上眼瞼、下口唇の紅斑、腫脹が主症状。

11. 高齢者に生じた皮膚腺病の 1 例

- 和久本圭子 (松江赤十字病院)

87 歳女性。右大腿部に皮下腫瘤を自覚、自壊したため受診した。分泌液より結核菌を同定、肺結核は否定され 4 剤併用療法を開始した。

特別講演 (11:30～12:00)

座長：山田七子

演題

「ヒト表皮幹細胞の動態解析と再生医療応用」

演者

鳥取大学医学部医学科再生医療学分野 教授

難波 大輔 先生

ランチョンセミナー (12:00~13:00)

共催 ファイザー株式会社

座長：吉田雄一

演題

「病態から考えるアトピー性皮膚炎治療」

演者

九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野 教授

中原 剛士 先生